

●第2回市民ワークショップを開催しました

7月20日と22日の2日間にわたり、市内2か所で「第2回府中基地跡地留保地利用計画策定に向けたワークショップ」を開催しました。

今回は、本年3月に開催したワークショップでいただいたご意見を踏まえ、3つの「土地利用目標・土地利用方針イメージ」についてご意見をいただきました。

当日は、猛暑にも関わらず、多くの方にご参加をいただきました。

・ワークショップの流れ

3つの「土地利用目標・土地利用方針イメージ案」それぞれに対し、「こんな風にしたい」という意見を検討シートに記入の上、班ごとにご議論いただきました。

・ワークショップの主な意見

1案「スポーツ推進・健康増進に寄与する活力あふれるエリア」

「スポーツ・健康」に関する意見	・市内外から観客を呼び込めるようなスポーツ施設が良い。 （例：ボールパーク、武道館、スタジアム等の施設） ・高齢者や子どもなど、年代に応じた機能等に配慮し、年代を問わず全ての人のための健康増進の場としたい。 （例：健康遊具やアスレチック施設、ウォーキング・自転車コースの整備等） ・府中市の個性や基地跡地留保地の環境など、特徴を活かした運動施設が良い。
「住まい・暮らし」に関する意見	・医療の拠点整備や子育て関係施設整備があると良い。 ・健康に関連し、農工大と連携して地元農産物の販売等の地産地消の場があると良い。 ・地域住民の生活に資する機能が必要である。 （例：日用品のあるスーパーマーケット、ごみ処理施設、ちゅうバスのターミナル等）

2案「緑を中心とする憩いと交流のエリア」

「緑と憩い」に関する意見	・地域住民向けとしてあまり人は来てほしくない。 ・市外からの観光客を呼び込みたい。 ・子ども向け機能の整備を行うと共に、大人も楽しめる場としたい。 ・緑を生かしながらも、他の公園とは異なる場所にしたい。 （例：管理者が常駐し、子供たちが自由に遊ぶことのできる場であるプレイステーション、野外撮影スタジオ、フラワーガーデン、パラボラアンテナ等の史跡巡りツアーが可能な公園等）
「住まい・暮らし」に関する意見	・1案と同様の意見に加え、公園と調和した緑を多く配置した施設、周辺の既存住宅地と調和した低層環境が整備されてほしい。 ・住宅地が整備された場合、学校の生徒数の問題に留意する必要がある。

3案「都市としての魅力を向上する新たな価値を創出するエリア」

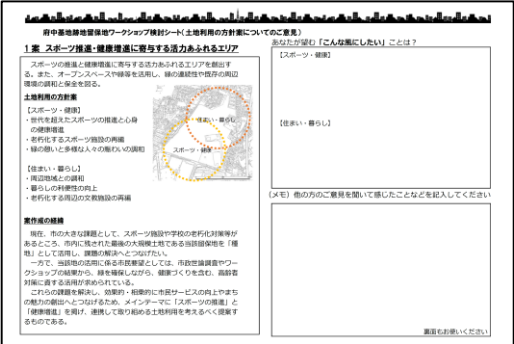
「多様な活力創出」に関する意見	・府中市の魅力を向上させ、市外から人を呼び込むようなエリアづくりを行いたい。 （例：商業施設、企業のサテライトオフィスの誘致から周辺の美術館・芸術劇場と連携した文化創造の発信基地、福祉関係の人材育成が可能な教育機関の誘致等） ・地域住民も含む多様な主体が利用することで、活力が創出される。 （例：市民協働の見本の場として、地域に開かれたボランティアセンターや高齢者の集いの場の整備等） ・活力創出を行う上で、府中の魅力を生かしたものであることや、緑の特徴を活かしたものとなると良い。
「住まい・暮らし」に関する意見	・1案や2案と同様に福祉施設の導入の要望。また、機能の複合利用を図ることがよい。 （例：商業施設と高齢者が利用するコミュニティサロンや学童教室との複合化、高齢者福祉施設と保育園の複合化、墓地と地下ごみ処理施設の複合化または住宅と地下ごみ処理施設複合化等） ・人が多く集まるために、交通アクセスを改善する必要がある。 （例：ちゅうバス路線の留保地内への導入や生活道路の整備等）
「スポーツ・健康」に関する意見	・「多様な活力創出」に関連して、プロスポーツチームの誘致や、スポーツと関連した施設を整備もしくは誘致することで市外から人を呼び込む。 （例：スポーツの研究施設・合宿が可能な宿泊施設等）

その他、全体に共通する意見として、次のものが挙げられました。

「多様な活力創出」に関する意見	・緑を生かしたエリアとすると良い。 ・全ての施設において、バリアフリーが必要である。 ・留保地東西の行き来、駅から留保地までのアクセスの向上を図る必要がある。 ・災害時に利用可能な施設となると良い。
-----------------	--

ワークショップの開催概要

開催日	開催時間	場所	参加者数
平成30年 7月20日（金）	19：00- 21：00	府中市民活動 センタープラッツ 第一会議室	12名
平成30年 7月22日（日）	14：00- 16：00	府中市生涯学習 センター 研修室2	15名



当日の検討シート（1案）

・ワークショップの様子



20日（金）開催のワークショップの様子



22日（日）開催のワークショップの様子



・ワークショップの参加者アンケート

参加者の方にアンケートを行ったところ、留保地への理解が「深まった」や「やや理解が深まった」との回答が7割を占めました。

全体を通しての感想では、「他の人の意見が聞けた」「自分の意見を言うことができた」との回答が多くありました。自由意見としては「市民ワークショップの意見が今後利用計画にどのように反映されるのか」「多様な意見を活かし、多様なものを作ってほしい」などといったご意見をいただきました。

●民間意見募集を実施しました

留保地に対して利用意向のある民間事業者等にご意見を伺う民間意見募集を実施しました。10社から意見提案書の提出いただき、うち9社にはヒアリングにもご参加いただき意見交換を行いました。

民間意見募集の実施スケジュール

日程	内容
平成30年7月4日（水）	実施要領の公表
平成30年7月4日（水）～平成30年7月20日（金）	参加申込書の受付
平成30年7月4日（水）～平成30年7月27日（金）	意見提案書の受付
平成30年7月30日（月）～平成30年8月3日（金）	ヒアリングの実施

・民間意見募集の主な意見

民間意見提案書の提案内容

機能	提案の核とした事業者 （）は言及した事業者	主な意見の内容
商業施設	4社 （5社）	・大規模商業施設（既存住宅地との調和、周辺地域及び地域から見た魅力創出、地域経済や消費の活性化、販売だけでなくコト消費等） ・小規模な沿道型商業施設
スポーツ施設	1社 （8社）	・スポーツ施設を核とした、多様な世代の住民が集まる、地域の交流拠点
医療・福祉施設	2社 （5社）	・専門病院の移転 ・医療モールや高齢者施設の連携
住宅	1社 （4社）	・マンションや戸建て住宅 ・北側の不整形部への住宅利用
文教施設	1社 （1社）	・本留保地の大部分を学校の運動施設として使い、一部サービスの市民開放

ヒアリングで頂いた意見の概要

区分	主な意見の内容
(1) 公民の負担について	・事業採算がとれる施設は民間、それ以外の施設は公共などの分担がよい。 ・福祉施設は行政による支援があれば民間主体の事業運営が可能。
(2) 用途地域の変更について	・具体的な用途地域の要望 ・用途地域に応じ、施設規模は柔軟に対応する。
(3) 国による売却前の市と民間事業者の連携について	・計画策定前に、対話を複数回重ねたい。 ・連携する上で民間にインセンティブがあるとよい。 ・「都市計画変更が見込まれる範囲」と「市が利用する施設と範囲」の事前提示が必要。
(4) 周辺の道路等について	・道路付けは良いが、現状の交通許容量の課題解決が必要。 ・府中市は鉄道沿いのアクセス以外に課題があるため、本地に交通広場を設けると、本地に関わらず市全体の交通アクセスが向上する。
(5) 留保地の売却について	・「地区計画による方向性の制限」でもよいが、「土地の入札時の制限や提案型プロポーザル方式」の方が、対話する上でのインセンティブが生じる。 ・オフィスや研究施設については、多少の課題はあるものの、魅力的な土地である。

ワークショップ及び民間意見募集において頂いたご意見は、「第6回府中基地跡地留保地利用計画検討協議会」にご報告します。